

# 議会 だより



令和8年4月23日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.246

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



飯田コアカレッジ「タウンミーティング」

紹介は12ページ



松尾小学校6年生「出前講座」

紹介は10ページ



第1回臨時会・第1回定例会	2P
委員会	3~7P
ズバリ市政を問う(一般質問)	8~10P
会派政務活動について	11P
議員紹介ほか	12P



令和8年

# 第1回 臨時会

1月30日  
開催(1日間)



## 臨時会のあらまし

第1回臨時会では令和7年度飯田市一般会計補正予算(第8号)案について慎重な審議を行い原案どおり可決しました。

### 《補正予算案の概要》

①衆議院議員選挙に係る費用  
41,816千円

②国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業

▼飯田市救急告示医療機関物価高騰支援事業  
エネルギー価格や原材料価格の高騰の影響を受ける市内の救急告示医療機関に対し、地域における救急医療体制の確保のための支援  
175,500千円

▼みんなの生活応援商品券事業  
食料品を中心とした物価高騰の影響を受ける市民生活の応援、消費の下支えによる事業者支援  
682,635千円

## 議案に対する質疑

Q 現状の市民生活を見る中で、第2弾としている「みんなの生活応援商品券事業」の規模感をどう捉えたか。

A 本市としては足元の物価高対策が多岐に

わたる中で、それぞれの支援に対する規模を決めている。他事業との関係もあり、市民一人当たり6千円の商品券を配布することとした。今回、様々な物価高騰の影響を緩和するために交付金を予算化した。今後この交付金を必ずしも活用するというのではないが、引き続き支援が必要と考え、令和8年度当初予算で検討している。

# 令和8年 第1回 定例会

2月27日  
～  
3月23日  
開催

## 定例会のあらまし

第1回定例会開会日に、執行機関側から「飯田市新型インフルエンザ等対策行動計画の変更について」の報告案件1件、「監査委員の選任について」など人事案件4件、「資金積立基金条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件21件、「損害賠償の額を定めることについて」など一般案件17件、「令和7年度飯田市一般会計補正予算(第9号)案」「令和8年度飯田市一般会計予算(案)」など予算案件20件の議案の上げがありました。

これらの議案は説明を受けたのち、各委員会に付託され議案審査を行い、その後の本会議において、いずれも原案どおり可決しました。なお、議案第52号「令和8年度飯田市一般会計予算(案)」については、本会議において委員長報告に対し反対の意思表示があった

ため、起立採決となりました。

令和8年度飯田市一般会計予算(案)では、令和7年第4回定例会閉会后に議長から市長に手交した「市民が安心して暮らせるための移動手段について、更に検討を進めることを求める要望書」の項目1で要望した「市民の移動手段の利便性の向上のため、既存公共交通の拡充や多様な制度との組み合わせを早急に検討されたい。」に関連し、免許返納者への支援が拡充されました。

## 議案に対する質疑と審査

報告及び人事案件以外の議案は、所管の委員会に付託され、集中的に審査しました。

委員会での質疑等の内容は、次ページからの常任委員会のページで、その一部を紹介いたします。

定例会の本会議の議決結果や会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会(中継)」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス  
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>



HP QRコード



開会日QRコード



閉会日QRコード

# 総務委員会

3月10日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

今定例会で総務委員会へ付託となった議案21件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。審査での主な質疑の内容を紹介します。

## 議案第7号 飯田市法山地域振興センター条例を廃止する条例の制定について

【内容】公の施設としての用途を廃止するため、条例を廃止しようとするもの。

**Q** 譲渡対象外となった多目的ホールについて、将来的に地元へ譲渡される可能性はあるか。また、一体的な施設であるため、多目的ホールを解体する際の費用負担は面積按分となるのか、あるいは市が全額負担するのか。

**A** 地元からは集会施設として使用している木造部分のみの譲渡希望があったため、多目的ホールを将来的に地元へ譲渡することは考えていない。また、構造上、鉄骨部分の多目的ホールのみの解体が可能であるため、解体費用については市が全額負担する。

## 議案第29号 飯田市過疎地域持続的発展計画の策定について

**Q** この計画の対象地区である上村・南信濃地域は高齢化率が60%を超え自然減も大

きい中で、目標人口は1,170人とあるが、どのような協議を経てこの目標数値になったのか。

**A** 地域の方々と協議し、現行計画の考え方を踏まえつつ、自分たちが目指せる目標として設定した。人数という数字も重要だが、地域の方からは、移住してきた一人ひとりがどれだけ一緒に地域づくりに関わってくれるかという、関わり具合が非常に大切との意見をいただいている。

## 《予算決算委員会 総務分科会》

予算案件のうち、当分科会に分担となった議案は4件です。主な質疑の内容を紹介します。

## 議案第52号 令和8年度飯田市一般会計予算(案)

■20地区田舎へ還ろう戦略支援事業について

**Q** どのような人材を集落支援員に委嘱しようと考えているのか。

**A** それぞれの地区で田舎へ還ろう戦略の取組が進められており、地区によって戦略の柱は異なっている。地区が重点を置く分野の知識や経験を有する地元のキーマン等への委嘱を検討している。

**Q** 地域を把握しているキーマンのような方が中心となって、地域全体を把握しつづけていくことはイメージが湧くが、特定分野に長けた方が集落支援員として、どういった支援ができるか。

**A** まちづくり委員会に加え、関係する団体も含め地域が一体となり、田舎に還ろう戦略を同じ方向に向かって進めていくために、

戦略を具体化・実証化していく段階で集落支援員制度を活用していきたいと考えている。地域を知っている人の視点から一緒に戦略を動かしていくこと、専門性の視点から取組を具体化していくこと。地域の中、あるいはその周辺で適した方がいれば、まちづくり委員会の活動を戦略的に動かしていくための人的支援の一つとして取り組んでいきたい。

## ■IIDAブランド推進事業について

**Q** 地元再発見ガイドブックの委託先はどのようなところを想定しているか。

**A** ガイドブックは、市政施行90周年を記念して制作し、店頭での一般販売を考えたいため、単なる印刷物としてではなく、企画編集から店舗への流通までを含めた出版物として制作する。業者選定はこれからだが、プロの視点を借りて制作していく。

## ■移住定住推進事業について

**Q** 新たに令和8年度から二地域居住の推進に関する事業が計画され、二地域居住推進事業実施運営業務委託料620万円、二地域居推進事業補助金500万円の予算が計上されている。併せて、コーディネーターの設置も予定されているが、コーディネーターの役割と委託先の想定は。

**A** 現在、天龍峡で二地域居住に関する動きがあり、二地域居住推進拠点の整備を進めていくために補助金による支援を行う。コーディネーターについては、二地域居住希望者と地域をつなぐ役割を担うことを想定しており、現段階では法人への委託を考えている。

# 社会文教委員会

3月11日・12日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

今定例会で社会文教委員会へ付託となった議案9件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。審査での主な質疑を紹介します。

## 議案第13号 飯田市ふれあいの郷松ぼっくり 条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】施設の一部の用途を廃止するため、条例の一部を改正しようとするもの。

**Q** 地域住民から歴史的建造物として保存を  
求める声があるが、これまで説明はどの  
ようにしてきたか。

**A** 地域への説明は、まちづくり委員会のみ  
なさんと住民説明会・意見交換会を3回  
実施し、地区でも組合回覧で意見募集をした  
が、意見なしとの報告をいただいていること  
から、合意形成の手続きは適正だと認識して  
いる。また、地区の一部で解体反対の声があ  
ることも承知している。解体後は、長きにわ  
たり地域に親しまれてきた建造物だったこと  
を踏まえ、まちづくり委員会から経過を残す  
ことの提案を受けているため地域と丁寧な協  
議を進めていきたい。

## 議案第26号 飯田市立小学校及び中学校を設置 する条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】飯田市立上村小学校及び飯田市立和  
田小学校を再編し、飯田市立遠山小学校を設  
置するため、条例の一部を改正しようとする  
もの。

**Q** 遠山郷学園小学校再編後の小学校は、施  
設の安全性を鑑み上村小学校を使用する  
ことになったが、教育環境の視点から遠山中  
学校で施設一体型の遠山学園という意見はな  
かったのか。今後再編について学園一体型の  
施設にしていくという方針は検討されるのか。

**A** 遠山郷学園の小学校再編の議論では、再  
編後の小学校を遠山中学校でという意見  
は出ていない。飯田市立小中学校の今後の在り  
方に関する第1次方針では、小中一貫教育をま  
ずは施設分離型で進めることとしている。学校  
の配置枠組みについては審議会で検討してい  
るため、これからの議論に基づく整理となる。

## 《予算決算委員会 社会文教分科会》

予算案件のうち、当分科会に分担となった議  
案は11件です。主な質疑の内容を紹介します。

## 議案第44号 令和7年度飯田市一般会計 補正予算（第9号）案

### ■小学校建設費及び中学校建設費について

**Q** 小中学校の屋内体育施設へ空調設備を設  
置することだが、具体的な設置場所  
は、また設置することで耐震性に影響はないか。

**A** 室内機はバスケットゴールの上のスペー  
スなど、施設の状態を踏まえ教育活動の

邪魔にならない場所に、室外機は体育館の外  
に設置する。設置することで耐震性に影響や  
問題がないことを確認している。

## 議案第52号 令和8年度飯田市一般会計予算(案)

### ■物価高騰対策生活支援事業について

**Q** 非課税世帯や生活保護世帯にエアコンの  
設置を促進するということだが、指標の  
計画世帯に市が設置するのか、それとも申請  
を受けて補助をするのか。

**A** 各生活保護世帯には担当するケースワ  
ーカーが個別に対応していく。生活保護世  
帯以外の住民税非課税世帯については、市の  
広報やホームページで周知し、対象となる世  
帯に支援する予定である。

## 議案第60号 令和8年度飯田市病院事業会 計予算(案)

**Q** 4月1日での組織見直しにおいて「経営  
戦略室」が新設されるが、組織を横断し  
た経営改善の考え方は。また、各部門との意  
識共有への取組は。

**A** これまでも横断的取組は行ってきたが、  
経営戦略室を設けることで指揮命令系統  
を明確にする。現在も経営企画部長  
が主管して、薬剤・診療・看護等の  
各部門の長が集まる経営企画会議で  
課題を抽出し、対策を取っている。  
今後もそこが機能する取組を進めて  
いく。



# 産業建設委員会

3月12日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

今定例会で産業建設委員会へ付託となった議案8件について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。  
審査での主な質疑の内容を紹介します。

## 議案第19号 飯田市千代基幹集落センター 条例を廃止する条例の制定について

**【内容】**平成26年まで飯田市千代公民館として使用したが、老朽化し、使用しなくなった飯田市千代基幹集落センターを廃止しようとするもの。  
**Q** 条例の廃止後の建物の管理と今後の活用について、方向性をどう考えるか。

**A** 当面は倉庫として利用し、今後の活用については、地元の地域協議会や関係部局と協議しながら探っていく。

**Q** 旧耐震構造の建物を倉庫として管理するにあたり、防火対応等の安全管理を徹底すべきでは。

**A** 公民館や地域自治振興課と連携し、安全管理の面も含め検討していく。

## 議案第21号 飯田市南信濃観光施設等条例の一部を改正する条例の制定について

**【内容】**飯田市南信濃木沢特産物等販売施設（梨元ていしゃば）の用途を廃止するとするもの。

**Q** 解体撤去の対象となる建物はどれか。ま

た、隣接するトイレ等の扱いはどうなるのか。

**A** 解体するのは南信濃木沢特産物等販売施設のみであり、隣接する公衆トイレ及び埋没林の展示施設の機能は維持する。

## 議案第30号 工事請負契約の一部変更について（過年発生土木施設補助災害復旧事業 橋梁災害復旧工事）

**【内容】**南信濃八日市場橋の土木施設補助災害復旧事業橋梁災害復旧工事について、工事内容の変更により、契約金額を増額したいとするもの。

**Q** コンクリート養生費等の増額が生じた理由は何か。

**A** 橋桁施工時期が厳冬期に及んだことから品質確保のための防寒養生や加熱等の費用が必要となったため。

**Q** 工期延長による住民生活への影響はないか。

**A** 住民に仮設の橋を引き続き利用できることを確認しており、不便が生じないよう努めていく。

## 議案第31号 工事請負契約の締結について（交通安全対策事業道路改良工事）

**【内容】**市道2-49号長野原線の長野原地籍における交通安全対策事業道路改良工事に係る工事請負契約を締結したいとするもの。

**Q** 施工に伴う終日通行止めの際、近隣住民の駐車場や玄関への出入りにどう配慮するのか。

**A** 具体的に施工する場所や日程が決定した段階で、仮の駐車場を手配するなど個別に対応し、住民等の協力を得ながら進めていく。

## 《予算決算委員会 産業建設分科会》

予算案件のうち、当分科会に分担となった議案は9件です。主な質疑の内容を紹介します。

## 議案第52号 令和8年度飯田市一般会計予算(案)

### ■交通体系整備事業について

**Q** 免許返納者への交通機関利用について、子どもや障がい者、マタニティ割引等もある中で新たな支援という理解でよいか。

**A** 既存の制度は維持した上で、新たに免許自主返納者向けの支援制度を拡充した。

### ■リア駅前周辺整備事業について

**Q** 駅前広場に整備する交流施設は、管理棟としての機能も含め、地域住民が幅広く活用できる多目的な施設となるのか。

**A** 多くの市民や来訪者が利用できるよう、多目的な機能も併設する予定としている。

### ■森林資源活用推進事業について

**Q** 未利用材等の搬出に対する支援とは具体的にどのような支援か。

**A** 間伐材等の内、山に残置していた未利用材を搬出するための費用を支援する。

### ■遠山郷観光戦略プロジェクト事業について

**Q** 情報発信について、ターゲットを絞ったSNS等の有料広告はあるか。

**A** SNSを活用した情報発信などの経費は、道の駅遠山郷施設管理費や観光誘客宣伝事業費を計上しているが、有料広告を活用した情報発信は行っていない。

# 予算決算委員会

予算決算委員会、及び分科会における予算議案の審査の様子は、YouTubeで動画配信しています



3月6日の本会議で、補正予算にかかる予算議案8件及び「令和8年度飯田市一般会計予算(案)」をはじめとした令和8年度当初予算案12件が予算決算委員会に付託された後、3月9日の予算決算委員会前期全体会で総務・社会文教・産業建設の各分科会へ分担し、3月10日から13日にかけて審査を行いました。令和8年度飯田市一般会計予算(案)の審査にあたっては、審査の前段で「令和7年度市議会による行政評価からの提言書」等への対応状況及び「令和8年度飯田市当初予算(案)の概要」に掲載の事業について、執行機関側から説明を受け、審査しました。

3月19日に開催した予算決算委員会後期全体会では、令和8年度飯田市一般会計予算(案)に対して、「リニア推進事業費等について、減額修正を行った上で再提出することを求める動議」の提出がありました。この動議に対しては、「健全な財政運営が維持できていること、市単独ではできない国の補助事業を活用して実施するリニア駅前広場の整備及び令和10年度の一部供用などの事業は、住民福祉の向上の観点から必要な事業である。動議に対して反対する。」との反対討論がありました。起立による採決の結果、原案のとおり可決しました。

## 「議会・議員の在り方」の検討について

いいだ市議会だより244号でお伝えした「議会・議員の在り方」の検討について、その後の状況は次のとおりです。

### 《これまでの経過》

#### 1 「議会の在り方検討委員会」の設置

令和7年12月19日の議会運営委員会設置を決定。委員会の目的等は次のとおり。

#### 目的1

議会報告・意見交換会で市民の皆さんから寄せられた意見をもとに、議会の在り方に関し、改めて議論し、議会の在るべき姿について一定の認識を共有する。

#### 目的2

目的1の議論を通して、適正な議員定数の在り方について一定の方向性を確認する。併せて議会に関する条例等(例 議会基本条例、議会倫理条例)の制定に関する方向性を確認する。

検討委員会の進捗状況等は必要に応じ全員協議会の協議・報告事項として扱い、全議員による共有と確認を行う。

委員長 佐々木博子、副委員長 長谷部春生

委員 森本紘司、小平彰、宮脇邦彦、市瀬芳明、

福澤克憲、清水勇、小林真一

委員外議員 野崎直仁、清水優一郎(副議長)

※議長(竹村圭史)は地方自治法第105条の規定を適用して出席

#### 2 議員研修会の開催

期日 令和8年2月2日(月)

内容 議員定数の考え方

講師 株式会社 廣瀬行政研究所

代表取締役 廣瀬和彦氏

検討を進めるにあたり、今後の議会活動等の在り方を考える一助とするため、全議員を対象に研修会を開催しました。

### 主な質疑

**Q** 採決を考えると議員定数は、奇数が適当だと考えるが、その考え方をどう整理すればよいか。

**A** 奇数が偶数かはほとんど考えていない。委員会審査において、委員が偶数の場合、委員長を除くと可否同数が避けられるが、通常可否同数という採決結果はまず起こらない。私はどちらでもよいと思う。

**Q** 例えば通年議会とした場合の議員報酬はどのようにすべきか。

**A** 通年議会は、災害が発生した場合にも、即議会対応できる。通常は4回の定例会に執行機関から出た議案の審議を行う。通年議会も通常も本会議、委員会の日数はあまり変わりがない。ただ、通年議会では、いつ会議が開かれるかわからないため、兼業議員は他の仕事を予定しにくい。このことから、議員報酬を生活費に近い形とすることも考えられる。



### 《今後の進め方(予定)》

市民と議会の関係性の再構築、議会の在り方、適正な議員定数の在り方等の検討

# リニア推進特別委員会

3月16日に  
委員会等を開催



委員会の様子は  
YouTubeを  
ご覧ください。

## 2026年度版リニア推進ロードマップについて

リニア本線工事の各工区における工事進捗状況。駅前広場整備の管理運営事業体の設立準備会の立ち上げ、3つの理念と6つの基本方針の整理と広場整備工事等の状況、リニア関連道路事業の座光寺上郷道路と交差するJR飯田線のアンダーパス工事や国道153号の拡幅等の工事進捗状況について説明がありました。

**Q** 工事車両の通行量増加に際し、歩道のない狭い道路における児童生徒の安全確保は。

**A** 歩行者の安全を第一とし、JR東海等に対しても安全対策の徹底を強く要望していく。

## 中央新幹線長野駅(仮称)新設工事・中央新幹線、風越山トンネル(上郷)工事進捗説明会について

令和8年度の工事について、駅部工区の土曾川橋梁の橋脚基礎の構築や駅部高架橋の基礎施工、風越山トンネル、上郷工区の上郷ヤードの土留め構築や発進坑内の掘削、土曾川ヤードの施工ヤードの造成及び作業用トンネル掘削のために必要となる仮設備等の施工に関する説明がありました。

**Q** 作業用トンネルの規模やルート、土砂搬出の手法、周辺住民への影響は。

**A** 作業用トンネルは住宅地の地下を通らないルートであり、断面は下幅約5.5メートル、高さ約4.5メートルで、ベルトコンベアを使用して土砂の搬出をする計画である。

## 飯田リニア駅前広場木造大屋根講演会について

令和8年2月28日に約300名の参加により開催され、設計者の北川原氏による講演やパネルディスカッションを行ったとの報告がありました。

**Q** 講演会の内容を参加者以外の市民へも広く周知すべきでは。

**A** 動画の公開や出前講座の積極的な活用により、理解を広める取組を進める。

## リニア中央新幹線長野駅(仮称)の駅舎外觀デザインについて

JR東海から、デザイン検討の参考とするキーワードやモチーフの提出依頼があり、5月以降に内容を取りまとめ、JR東海へ提出する予定との説明がありました。

**Q** 地元は駅舎の形状にどの程度関与できるか。

**A** 地元にはキーワードやモチーフの提案が求められており、駅舎の構造そのものはJR東海が決定することになる。

**Q** 外観だけでなく、駅舎内観への地元意見の反映は。

**A** 今後、外観デザインの協議を進めていく中で、内観についても改めて協議を進めていくことになる。

## 令和7年度飯田市議会主催 飯伊市町村議会議員研修会を開催しました

- ◆ 期日 令和8年2月2日(月)
- ◆ 場所 鼎文化センター ホール
- ◆ 演題 議員が守るべき政治倫理
- ◆ 講師 株式会社 廣瀬行政研究所  
代表取締役 廣瀬和彦氏

近年、地方議員の不適切な立ち居振る舞い等に起因する報道を目にする機会が増えていく。そのため、議員の政治倫理に関する講演を受けることにより、今後の議会・議員活動の在り方を考える機会とするため、政治倫理をテーマに研修を行いました。

議員に関する規程、政治倫理の対象になる範囲、政治倫理規制のメリット・デメリット、議員のSNS発信による現状と課題、不適切なSNS発信に対する議会の対応など、例を挙げながら多岐にわたって御講演をいただきました。

当日は、飯田市議会議員のほか、下伊那郡町村議会議員、伊那市議会議員、駒ヶ根市議会議員が参加し、質疑応答でも熱心な質問が出されました。本研修を今後の議員活動に役立ててまいります。



## 空き家活用支援の拡充について 空き家の事業への活用促進は

大平 雲龍 議員 (会派きぼう)



**A** 起業支援施策と連動した空き家の活用支援制度については、起業の過程で空き家などの地域資源や補助制度の案内などを行っている。各地区にある活用できる空き家をリスト化し、状況を整理する方針である。資金調達や空き家の利活用だけでなく、人と人、人と地域をつなぐ取組を行っていくため、庁内の関係機関との連携を密にしていこう。

**Q** スタートアップ支援施策と連動した空き家活用支援制度を創設する考えは。

# ズバリ！ 市政を問う

第1回定例会の一般質問の概要を紹介します。  
(15名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は  
YouTubeで  
動画配信しています



## 飯田市におけるこれからの 学校教育のあり方について

森本 紘司 議員 (新政いいだ)



**A** 今後の学校の配置・枠組みについて、地域における対話やボトムアップ方式により丁寧に合意形成を図っていく手法は当市の地域に合うものと考えている。飯田市これらの学校のあり方審議会から出される答申を受け、今後の議論を進める中で、学校の設置者であり、まちづくり全体を考える立場である市長として判断を求められれば適切に判断したい。

**Q** 地域で議論を始めるために、今後の学校の配置・枠組みについて市長から方針を示す考えは。

## 「まちの未来図(案)たたき台」の 活用方法は

長谷部 春生 議員 (会派きぼう)



**A** 公の会議の場だけでなく、日常の会話の中においても「まちの未来図(案)たたき台」を基にして様々な意見等を市に対して出していきたい。そのようにしていただきた。そのようにしていただいた意見等を整理し、「リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン(案)」に反映することで、全市的な土地利用に関する行政計画の見直しを行い、持続可能なまちづくりを推進する考えである。

**Q** 「まちの未来図(案)たたき台」の活用と寄せられた意見・提案の反映方法は。

## 地域自治へ協同労働のしくみを 活用しては

宮脇 邦彦 議員 (公明党)



**A** 「ムトスの精神」に基づく地域活動との親和性が高い労働者協同組合は、多様な働き方を実現しながら地域課題の新たな解決方法となり得、地域自治の振興という面でも期待が持てる。行政の知識や経験を持つ市の職員が民間的な手法である労働者協同組合の運営に携わること、市の職員にとって多面的な力を得る機会となる可能性を感じるものである。

**Q** 地域自らが稼ぐモデルとしての「労働者協同組合」の活動は、地域課題の新たな解決方法となるか。

## 地域自治の基本である 「自治基本条例」について

古川 仁 議員 (日本共産党)



**A** 自治基本条例は市民主権をうたっているものであり、地域自治のあり方は市民が中心となり時間をかけて議論すべきものであると理解している。自治基本条例の制定に関する過去の経過を鑑みても、その見直しや検証は地域自治の根幹に関わるため、市民の代表である市議会が主導し、市民・行政・議会の三者で議論を深めることが自然であると考えている。

**Q** 条例の制定から19年経つが、市民・行政・議会の三者で見直し、検証する考えは。

## 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

岡村弘子 議員 (公明党)



**A** 介護者に最も身近なケアマネジャーや地域包括支援センターが、毎月、介護者の状況についても聴取又は観察を行い、負担感が強い様子である場合には介護対象である認知症の方のショートステイの利用等を提案している。そのほか、市の相談窓口での介護負担に関するアンケートを活用し、支援の必要な介護者の早期の発見に努めている。

■介護人材確保対策について

**Q** 支援の必要なケアラーを早期に発見して支援につなげていく取組は。

## 人口減少時代の飯田市の対応について

小平彰 議員 (新政いいだ)



**A** 渋谷区と下久堅地区の森林「渋谷の森」で間伐体験を通して地元住民との交流を実施している。現在、品川区・渋谷区と森林環境譲与税を活用した交流はないが、これらの区との関係はますます発展していくと考えている。平成30年に港区と木材の供給に関して協定を結ぶなど、様々な都市と森林環境譲与税を活用した協定や交流を検討し、進めていきたい。

**Q** 飯田市に豊富にある森林資源を活用した都市間との交流人口創出の考えは。

## 国の地方財政計画等を受けての飯田市予算の考え方は

福澤克憲 議員 (会派きぼう)



**A** 実質公債費比率は、令和6年度決算における単年度の数値は8.6%であった。令和7年度決算では8.4%、令和8年度決算では9.1%との見込みであり、単年度でのピークは、令和11年度で13.9%となる見通しである。社会全般の状況で財政規模が大きくなっているが、今後10年は未来に向けた投資も必要であり、長期的な財政見通しを物差しとし、財政事情を見ながら必要な事業を行っていく。

**Q** 過去最高額となった予算、具体化してきた大規模事業を見据えた、実質公債費比率の見込み、方向性は。

## 学園構想におけるみらい創造科の周知について

市瀬芳明 議員 (日本共産党)



**A** 令和8年4月に、各校でみらい創造科についての説明会を実施する予定である。現在、教育委員会事務局が作成した保護者及び地域向けのリーフレットを配布するよう進めている。学園と学校のカリキュラムについても、令和8年4月中旬に各校ウェブサイト等で公表をして周知をしていきたいと考えている。

■学校運営協議会と学校づくりにおける児童生徒の参画について

**Q** 学園構想で変わったことなどわかりやすく伝えることが必要と考える。説明をどのように行うか。

## 市の人口ビジョンの人口減少をゆるやかにするには

小林真一 議員 (公明党)



**A** 若者の地元回帰の考え方や視点についてデータとして集積し、今後の施策検討等に活かしていくことは非常に有効であると認識している。様々な機会を捉えてあらゆる場面で若者の意識や視点等のデータを集めていく方法を検討していく。令和8年度からデータ集積に向けた新たな取組を実施し、若者の地元回帰のための施策につなげていきたい。

**Q** 若者回帰のために、市が若者の考え方や視点等のデータを蓄積することが更に必要と考えるがどうか。

## 部活動の地域展開について

正木利幸 議員 (新政いいだ)



**A** 部活動の教育的側面については、心身の成長や連帯感、規範意識の醸成など、学校教育の中で一定の役割を果たしてきたと認識している。地域展開においても教育的な視点を共有し、こどもの成長につながる活動を維持したい。代替策として、クラスやグループ、異年齢間の交流など、様々な形態の活動の中で仲間と協力し目標達成する活動の場をこれまで以上に大切にしていく。

**Q** 中学校教育において、部活動の教育的側面を失うことによる代替策をどのように考えるか。

## 中学校部活動の地域展開 について



松岡 秀治 議員 (会派きぼう)

**A** 地域展開のプラスの面は、学校規模に左右されない活動機会の確保や専門性の高い指導の機会、他校の生徒や地域の大人との交流の拡大がある。その一方、懸念される点としては、各家庭における送迎負担の増加、経済的負担の拡大、活動場所の変化による生活リズムへの影響が想定される。こうした影響が最小限になるよう検討を進めている。

**Q** 学校部活動を地域クラブ活動へ完全に移行した場合、生徒にどのような影響があると考えるか。

## 環境に配慮した農業への 飯田市独自の取り組みは



関島 百合 議員 (会派きぼう)

**A** 学校では今年度、「みやまし農産物」の認証を受けた人参、米などの9品目を約14トン使用した。月1回の「地域食材の日」には、校内放送や掲示でその使用を周知している。認証農家を訪問したり、農家の方から話を聞いたりする学校もある。公立保育園では、15園のうち7園が「みやまし農産物」を定期的に仕入れており、紙芝居などで食育学習をしている。

**Q** 直売所などでの販売のほか、給食にも導入している「みやまし農産物」を食育にどう活かしているか。

## 大学連携コーディネーター について



野崎 直仁 議員 (無会派)

**A** 大学連携コーディネーターは、研究者と地域の緩やかな繋がりを作り、住民に良い効果を生むことを期待して設置している。行政が大学をコントロールして課題解決を図るといふ観点ではなく、大学やその学生が飯田市と関係を持ち続けること、あるいは関係人口として増えていくことを狙って大学連携コーディネーターを引き続き設置していきたいと考えている。

**Q** 大学連携コーディネーターが大学の先生との連携を強化し、飯田市の課題解決に取り組むのはどうか。

## 新型コロナワクチン定期接種 に関して



遠山 雄 議員 (会派きぼう)

**A** 市としては、国が公表している科学的知見や審議会の評価を踏まえ、現時点でワクチン接種による死亡について重大な懸念が認められる状況にないと認識している。ワクチン接種の効果や副反応等及び予防接種健康被害救済制度について市のウェブサイトで案内を行っている。今後も市民が接種の要否を適切に判断できるように情報発信に努める。

**Q** ワクチン接種後の死亡数がこれまでの薬害に比べても多い状況の中で市としてはどう受け止めるか。

## 未来の有権者へ 「出前講座」を行いました

2月10日(火)に松尾小学校6年3組で「出前講座」を開催しました。

出前講座では、議会に対する理解や関心を深めてもらうために、議会の仕組みや役割を説明し、意見交換も行います。

◆議員 議会の役割、議員の職務等の説明

◆議員 全国市議会議長会が若者に人気の漫画のキャラクターを採用した主権者教育用リーフレット「フリーレンたちと学ぶ地方議会」を使用

◆児童 飯田市のいいところのアピール

◆意見交換 児童と議員

## 児童から出された意見の一部を紹介します

1班 水引に触れる機会があまりなく、葬式が白黒、お祝い事が赤白ぐらいは分かっている。結び目の違いなどまでは知らなかった。

2班 飯田は田舎だから住みやすく、自然もありそれがよさだと思ふ。あまり都会化しないでほしい。政治家は不正等もちゃんと公表してそれも含めて市民は選んでほしい。

3班 学校が遠くて朝が大変。スクールバスや自転車通学を可能にして欲しい。

4班 焼肉は好きではないけれど、学習してみたいことがたくさんあったし、焼肉文化はいいと思った。

5班 歴史や信仰についても積極的に発信して魅力を伝えた方がいいと思ふ。

# 令和7年度後期政務活動報告(視察先件数と主な視察内容)

## ■会派きぼう ◎令和7年11月5日～11月7日(4件)、○令和8年2月4日～2月6日(4件)

- ◎「アグリサイエンスバレー常総の取組」について(茨城県常総市)  
農業6次産業化による地域活性化を目指すまちづくり事業
- ◎「オーガニックなまちづくり事業」について(千葉県木更津市)  
オーガニックを持続可能な未来を創るためと捉え、「まち」を次世代に継承していくための取組
- 「不法投棄防止対策事業」について(京都府京田辺市)  
不法投棄対策として先進的な「みはるくん、みてるちゃん」を導入し不法投棄の削減事例
- 「廃校Re活用プロジェクト」について(京都府福知山市)  
廃校を地域活性化の資源と捉えて立ち上がった新規事業の取組

## ■新政いいだ 令和8年2月5日～2月6日(2件)

- 「民間による廃校活用」について(らぼぽぽなめがたファーマーズヴィレッジ)  
廃校を菓子生産工場と体験型農業テーマパークにし、地域の活性化や地元人材の雇用に繋げた取組
- 「公・民・学の共創による街づくり」について(柏の葉スマートシティ)  
「世界の未来像をつくる街」をミッションに掲げ、「公・民・学」共創による街づくりの仕組みと、「健康長寿」「環境共生」「新産業創出」の3本柱の内容など、先進的な取組

## ■公明党 令和8年1月20日～1月21日(4件)

- 「認知症支援『認知症不安ゼロのまち』への取組」について(愛知県大府市)  
まちづくりの基本理念を「健康都市」とし認知症等に関係する施策の積極的な取組
- 「女性防災リーダー養成と任意の小規模避難所ネットワークづくりの取組」について(一般社団法人 こども女性ネット東海)  
緊急時・災害時に声を上げにくい妊婦・乳幼児・子ども・女性の命を守るために、日ごろより防災・減災の活動等の「たすかる」活動を行い、新たな地域のコミュニティの醸成のための取組

## ■日本共産党 令和8年1月19日～1月20日(2件)

- 「環境への取組」について(山口県宇部市)  
森林資源活用、地域内経済循環、再エネの実装等
- 「市立学校の将来の在り方にかかる基本構想以降の流れ」について(山口県光市)  
学園構想を進めるなかで、令和7年度から施設一体型が始まった。これまでの経過等を学ぶ。

## ■無会派 令和7年11月27日(1件)

- 「最新の道の駅の動向調査」について(愛知県日進市)  
最新の道の駅を調査し、当市の道の駅の在り方を検討する材料とする。



◀ 報告会の様子

報告会の動画は  
こちらから👉



調査報告書は  
こちらから👉



植物性インキと再生紙を使用し、環境に配慮した広報紙づくりに努めています。

## 議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



### ～アイ・ハヴ・ア・ドリーム～

の ぞき なお ひと  
**野崎直仁**

私はこの3月で65歳になりました。人生100年時代と言われる現代においては新しい夢を持って第二の人生を始める時かもしれませんが、私においては自分で創業した会社を2つも持っていて、借金の返済もまだまだ続きますので新たな第二の人生とはいきません。私がサラリーマンを辞めたのは49歳の時です。ここからが私にとっての第二の人生かもしれません。この15年程は自分の好きなことを仕事にしてストレスのかからない生き方をしてきました。今回ふと自分の夢は何かと思いましたが、今の生活がこのまま続くことがささやかな夢かもしれません。飯田の素晴らしい自然がこのまま維持されることと共に。



### ～遠山の小さな楽園～

とお やま ゆう  
**遠山 雄**

遠山にゆかりがあるのかと聞かれる事が多いのですが、遠山郷は私の祖父母が住んでいたところで、4歳から5歳まで遠山郷にいました。それ以降も家庭の事情で幾度も祖父母に預けられて遠山郷で過ごしました。祖父が庭で花を綺麗に育て、池にはコイや魚がたくさん泳いでいました。小さな庭でしたが小動物たちの楽園で、一部地域で天然記念物に指定されているモリアオガエルも産卵に来て本当に賑やかでした。私が生き物を好きなのは祖父の影響です。庭で捕まえた蝶の生態を解説してくれたり、花に飛んでくる蜂や虻が自然界でどんな重要な役割を果たしているかを教えてくれました。本当にたくさんのことを学びました。私もいつか同じような庭を作りたいと思っています。

## 議会の動き(予定)

■ 令和8年第2回定例会 傍聴にお越しく下さい。  
 開会日5月29日(金) 閉会日6月19日(金)

### ◇一般質問

6月4日(木)、5日(金)

### ◇委員会日程

予算決算委員会前期全体会	6月 8日(月)
総務委員会	6月 9日(火)
社会文教委員会	6月10日(水)
産業建設委員会	6月11日(木)
リニア推進特別委員会	6月15日(月)
予算決算委員会後期全体会	6月18日(木)

■ 議会への請願・陳情は、議会事務局へ  
 5月13日(水) 午後5時までにご提出ください。

## 議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、コート、マフラーの着用、傘の類の携帯はご遠慮ください。(病気その他の理由により会議への出席に必要と認められる物であって議長にあらかじめ届け出たものは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)

## 広報広聴委員会

委員長/関島 百合 副委員長/長谷部 春生  
 委員/水月 レイ 森本 紘司 岡本 恒和 岡村 弘子  
 野崎 直仁 松岡 秀治 市瀬 芳明

## 飯田市議会タウンミーティング



※飯田コアカレッジ作成

### 「新たな広聴の場」タウンミーティングの開催

タウンミーティングは、議会との接点がなかったり、声を届けにくい子育て世代や若者、女性など幅広い市民の皆さんとの懇談の機会となる「新たな広聴の場」としています。

今回は、飯田コアカレッジから授業の一環として意見交換を行いたいという連絡をいただき、1月29日(木)にタウンミーティングを行いました。

議会からは12人(正副議長、常任委員長、広報広聴委員)が参加し、飯田コアカレッジは学生35人、先生方にご参加いただきました。

学生と議員が6グループに分かれ「地域理解・地域探求の授業を通じて若者が想うこと」をテーマに意見交換を行いました。

学生からは、「探求の授業を通して、地元の特産品を使った製品を作ること、地元のことを学びきっかけになった。」などの意見、議会に対しては「知らない。」「議会(議員)は行政の管理などを行っているイメージ。」との意見もありました。

今後も幅広い世代の市民の皆さんとの意見交換を行い、議会活動に役立てていきます。